

新年



大館市長

小畠 元

市民の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復興と共に歩んだ年でした。新たな情報が入るたびに凄惨な状況を目にし、その大規模な被害は私たちの想像をはるかに超えるものでした。市民の生命と財産を守ることこそが行政の最大の使命であると、改めて実感した次第です。

国内の経済情勢につきましては、長引く不況に加え、震災や円高等の影響により、いまだに厳しい状況が続いております。こうした中、本市では、工業団地において誘致企業3社が、また、田代地域に養豚工場が操業を開始することになっており、当初90人、将来的には170人の常雇用が見込まれるところです。今後も更なる雇用を生み出すため、企業誘致の促進や既存企業への支援、リサイクル産業の拡大、農林畜産業の新たな事業展開など、地場産業の強化を図つてまいります。

一方、こうした産業振興や雇用の確保以外の重要施策についても更に取り組みのスピードを加速させていきたいと考えております。

都市基盤の整備につきましては、昨年TKマンション大町の完成や御成町南地区土地区画整理事業の仮換地指定の完了、日本海沿岸東北自動車道大館南IC～二井田真中IC間の開通と、着実に進展したことを弾みに、今年も更に大きな前進を目指し取り組んでまいります。

少子・高齢化社会への対応につきましては、第五期介護保険事業計画の策定と実行などにより、福祉の充実を進めるとともに、二次医療の総合病院、地域密着型の扇田病院としての特化を進め、より質の高い医療の提供に努めてまいります。

また、震災で重要性が再認識された地域コミュニティについても、生涯学習の推進や地域応援プランでの活動を支援し、活性化につなげていきたいと考えております。

新年を迎え、心も新たに、市民サービスの向上にあらゆる努力を傾注してまいる所存ですので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

改めて、安心して暮らせる市政運営をお誓い申し上げ、新年のごあいさつといたします。